

2024年12月期 第1四半決算説明動画



スペイン王国・サモラ県

第1四半期
決算

ふくい桜マラソン

2024 FUKUI SAKURA MARATHON



かけぬぎたい桜のマラソン。

大会プロデューサー
大迫 俊 選手
プロデューサー・ライターの職

2024 3.31 START!

ランナー募集

2023年夏開始予定!

日本陸上競技連盟公認コース予定

福井唯一のフルマラソン。乞うご期待!!

問合せ

ふくい桜マラソン実行委員会事務局
福井県文化体育部文化・スポーツ部ふくい桜マラソン課内
TEL: 0776-20-0539 (平日9:00~17:00)
MAIL: marathon@pref.fukui.lg.jp





株主総会での質問

- 時価総額500億円を達成する時期はいつごろを目標としているのでしょうか

1 第1四半期の業績ハイライト

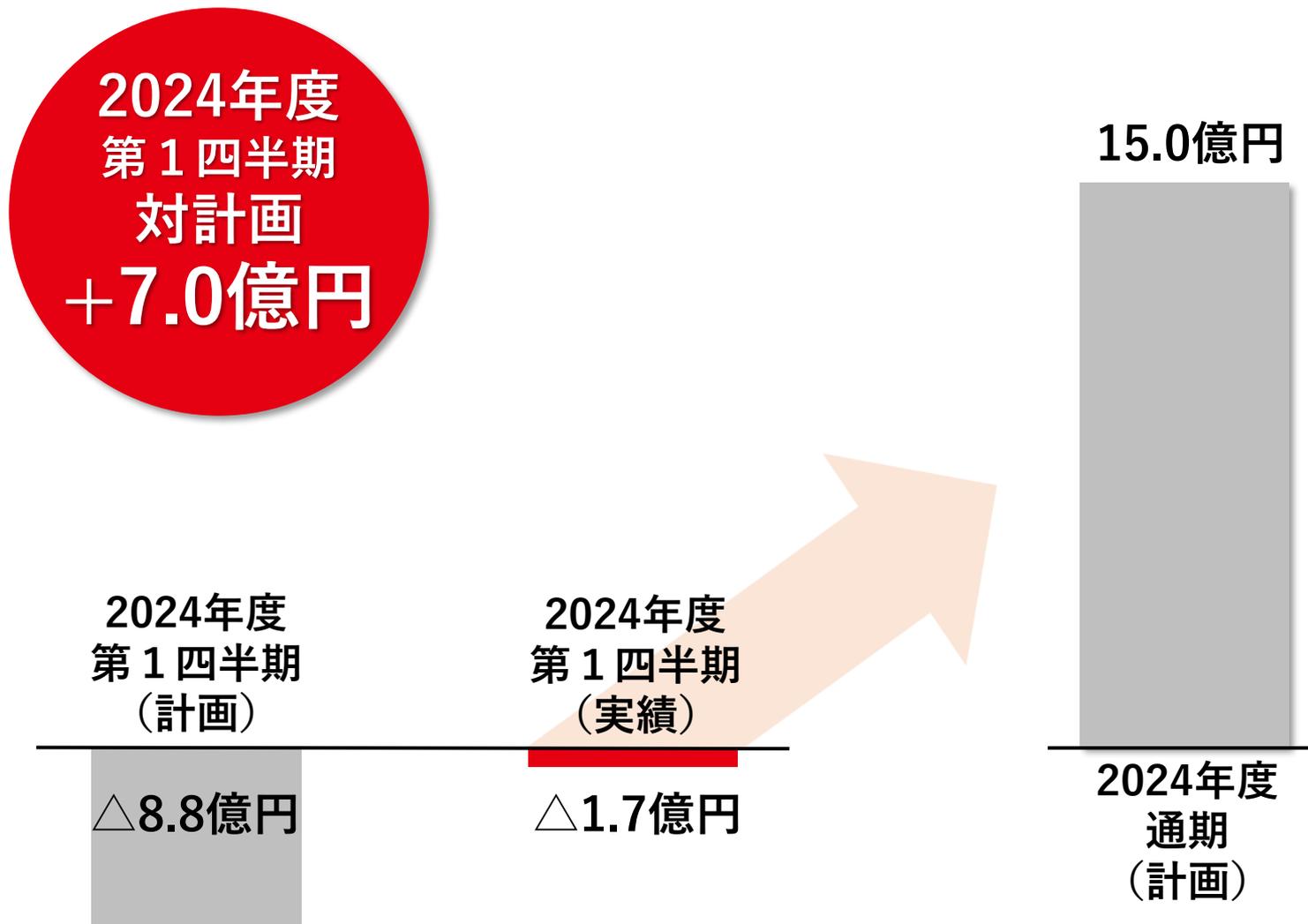
2 主な出来事

3 5つのストック収入

1 第1四半期の業績ハイライト



当期純利益の進捗





第1四半期計画の上振れ主要因

計画上振れの2つの要因

計画 $\triangle 8.8$ 億円 \Rightarrow 実績 $\triangle 1.7$ 億円

① 海外フローの増加

売上総利益

開発報酬

+マンサナレス発電所 3.9億円
+バルデカレタス発電所 2.8億円

計画：- 億円 \Rightarrow 実績：6.7億円

② 国内売電事業等の増加

売上総利益

+4.1億円

計画： $\triangle 1.4$ 億円 \Rightarrow 実績：2.6億円



① 海外フロー増加

2023年度 第4四半期

マンサナレス
開発報酬期ずれ

2024年度 第2四半期

バルデカレタス
開発報酬前倒し

売上高

2024年度
第1四半期
計画

-



2024年度
第1四半期
実績

6.7億円

2024年度
通期
計画

52.6億円

2024年度
通期
進捗率

12.7%

売上
総利益

-



6.7億円

52.0億円

12.8%

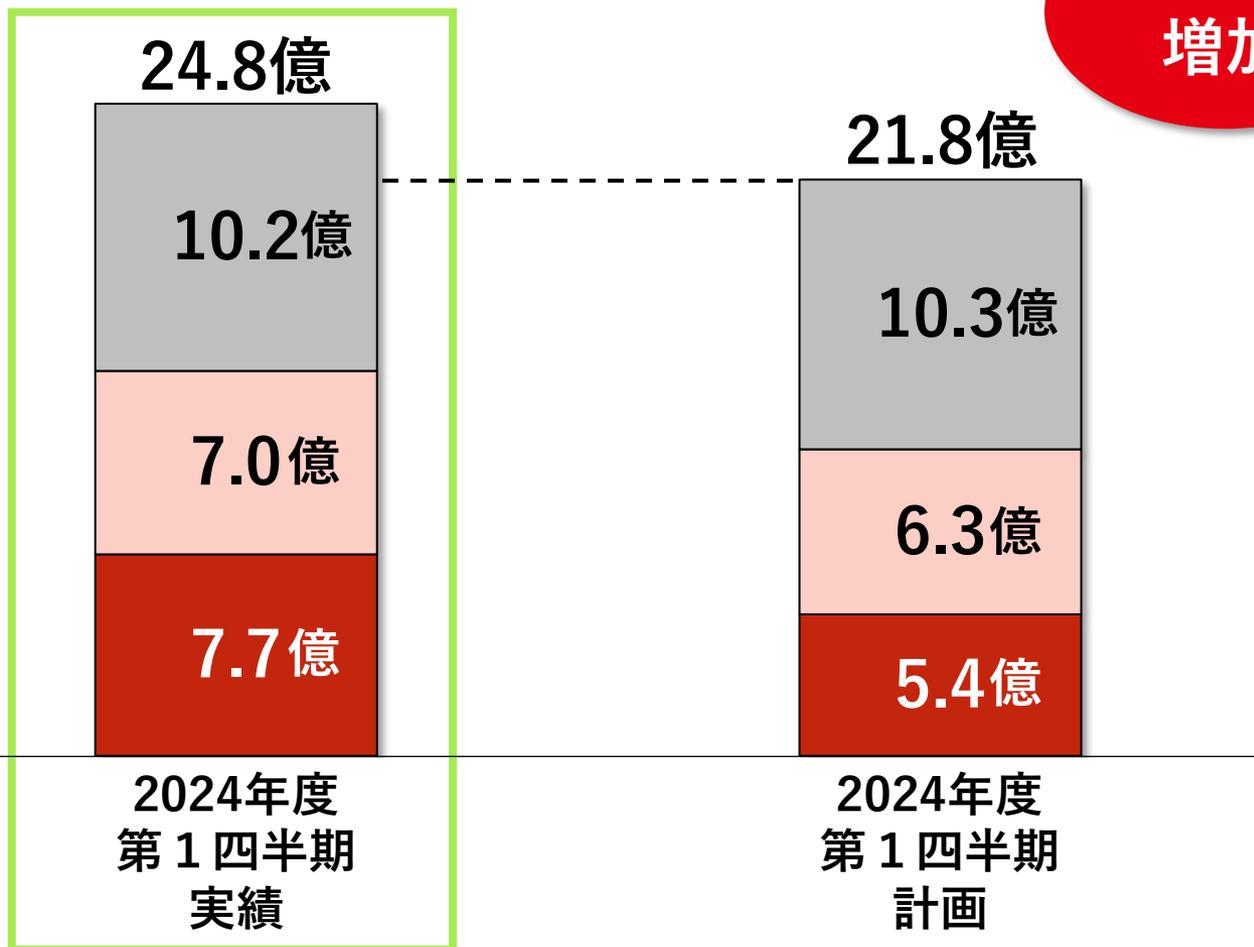


②国内売電事業等の増加

【売上高】

実績

- 3月
- 2月
- 1月

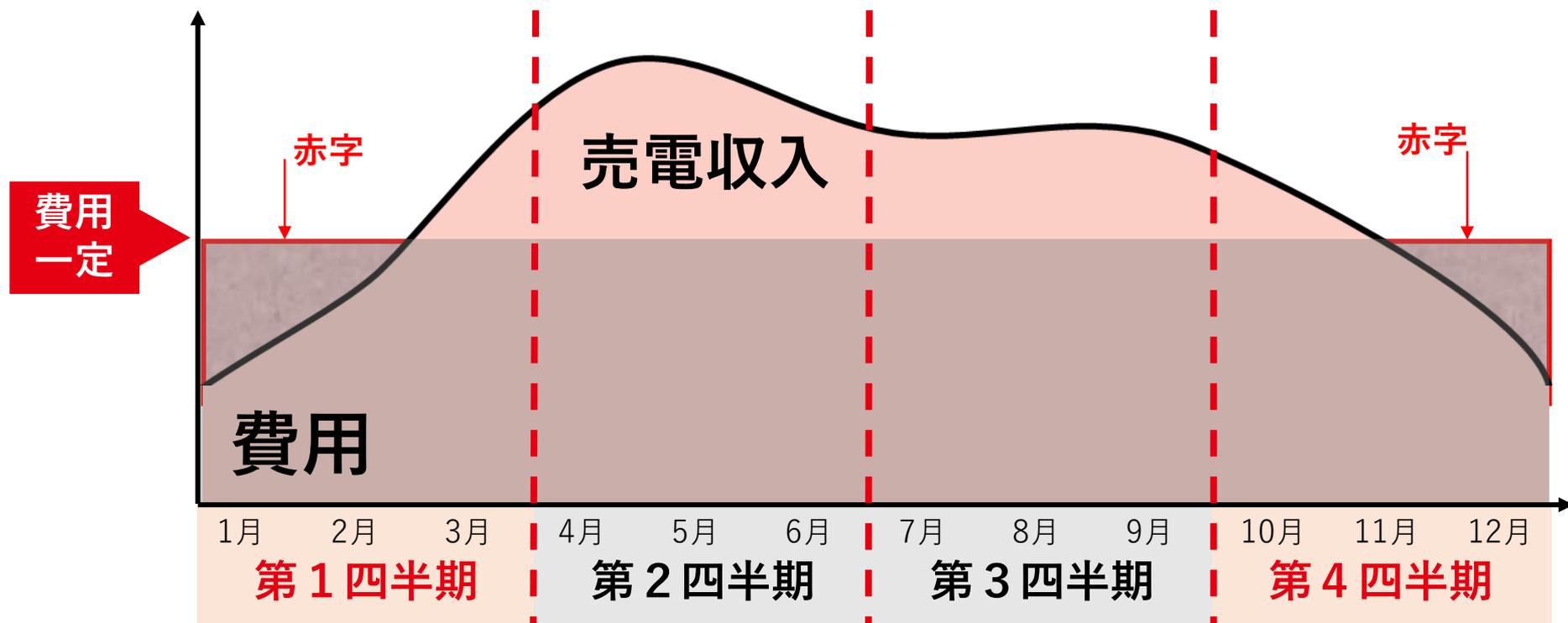




②国内売電事業等の増加

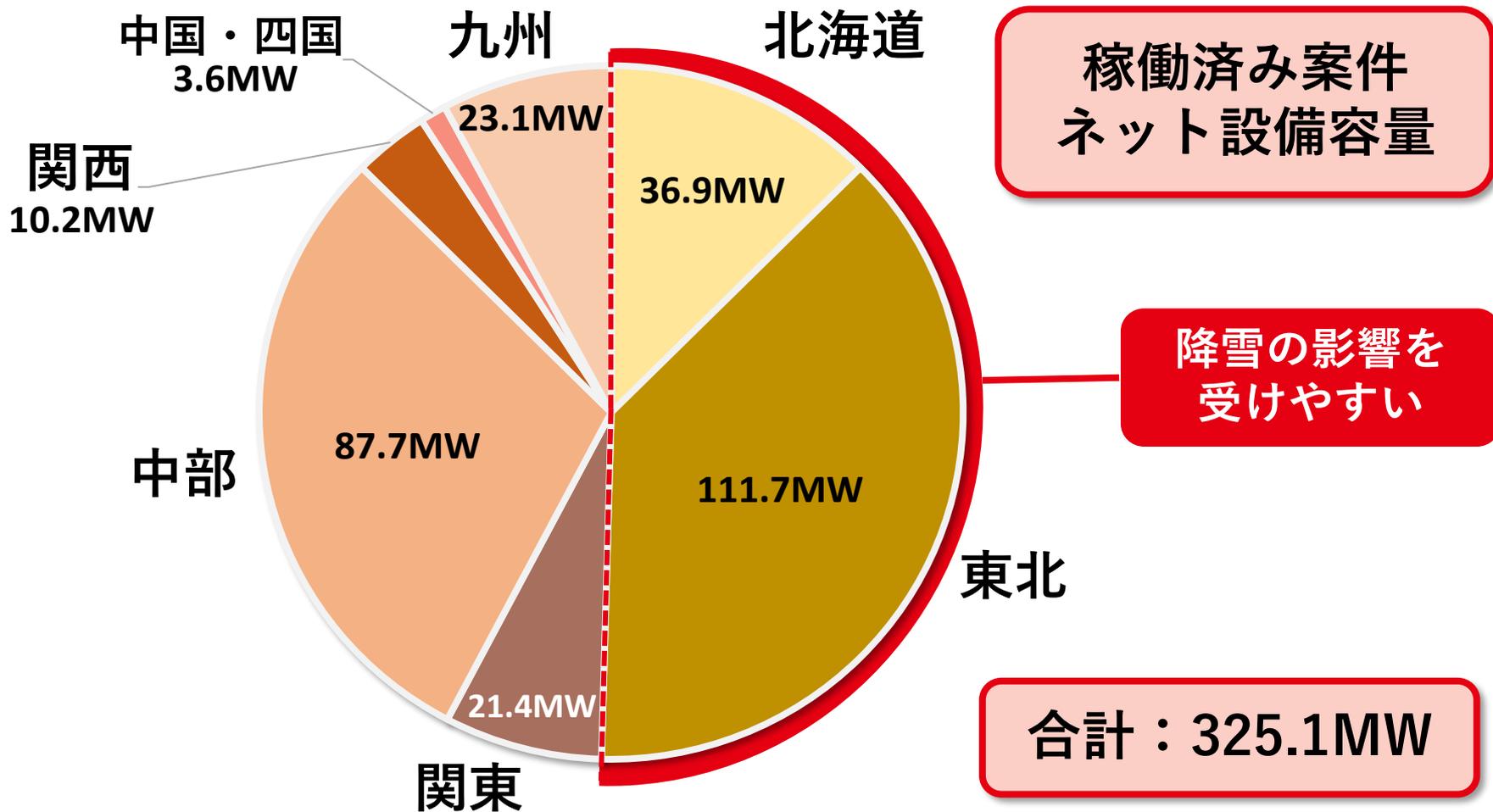
四半期毎に季節影響があり、売電収入は変動

売電収入と費用のイメージ図





②国内売電事業等の増加



※上記に加え、全国各地Non-FIT案件で22.0MW(ネット)、低圧バルクで8.2MW(ネット)
※太陽光の設備容量及びネット設備容量はDC(パネル)容量であり、小数点第2位以下は切り捨てにしています。
※ネット設備容量は、設備容量にRJ持分割合を乗じたものです。

2 主な出来事





2024年度 第1四半期の主な出来事

1月

2月

3月

① Non-FIT/FIP案件開発

② スペイン バルデカレタス発電所取得

③ O & M受注容量 2 GW 超を達成



リニューアブル・ジャパン
2024年4月1日

**リニューアブル・ジャパンのO&M事業、
管理実績2GW超を達成**

リニューアブル・ジャパン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：奥澤 隆仁、以下「当社」）は、2024年3月末に再生可能エネルギー発電所のO&M事業^(*)の管理実績が2GW（=2,000MW）超を達成いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、再生可能エネルギー発電所の開発、発電、運営・管理といった、再生可能エネルギーに関する事業を一貫して手掛けております。O&M事業は、2021年より外部委託を強化することで急拡大し、2022年2月末に管理実績1GW超、2023年3月末に1.5GW超と増勢し、本年3月末に2GW超となりました。太陽光発電所オーナー様が安定した売電収入を得られるよう、真摯に取り組みできた姿勢をご評価いただいたものと考えております。

**O & M 事業
管理実績
2GW超**

技術力 × 価格競争力

当社のO&M事業の特徴は、「技術力」と「価格競争力」です。

「技術力」に関しては、各拠点に経験豊富な技術者を配置することで、発電所が抱える様々なニーズに対応できる体制を整えております。また、2022年5月に創設したO&M技術者教育制度である「Riアカデミー」を通じて、継続的な技術力の向上を図っています。

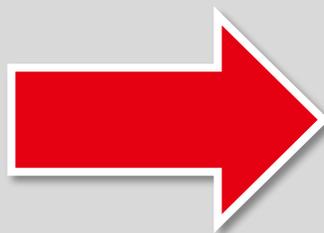
「価格競争力」に関しては、競争や紛争、年次ごとの価格変動を抑制した業務の内製化を推進しており、自社内で多岐にわたる業務をワンストップで完結させることで、低コストを実現しています。

今後もDX（Digital Transformation）の導入や、ドローンによる点検など、最先端のO&M技術も駆使して効率化を図るとともに、全国主要地域32拠点^(*)のサービスをフル活用し、更なる事業拡大を目指してまいります。



① Non-FIT/FIP案件開発

2023年12月期
通期実績
8.8MW



2024年12月期
第1四半期実績
22.0MW

兵庫県川西市 5.4MW_{ネット}



売電開始 2024年3月 RJ出資100%

全国各地低圧バルク + 2.0MW_{ネット}



* FIT売電単価1kWh当たりの15円以下の案件及び、FIP、Non-FIT案件は全てNon-FIT案件として計上しております。



②東急不動産とバルデカレタス発電所を取得



サモラ県トロ市



+3.7MW
(ネット)

バルデカレタス太陽光発電所

設備容量	37.8MW
取得月	2024年 2月
出資比率	東急不動産：90% リニューアブル・ジャパン：10%



②スペインの稼働済み案件

スペイン王国

太陽光

5 案件

52.8 MW(ネット)

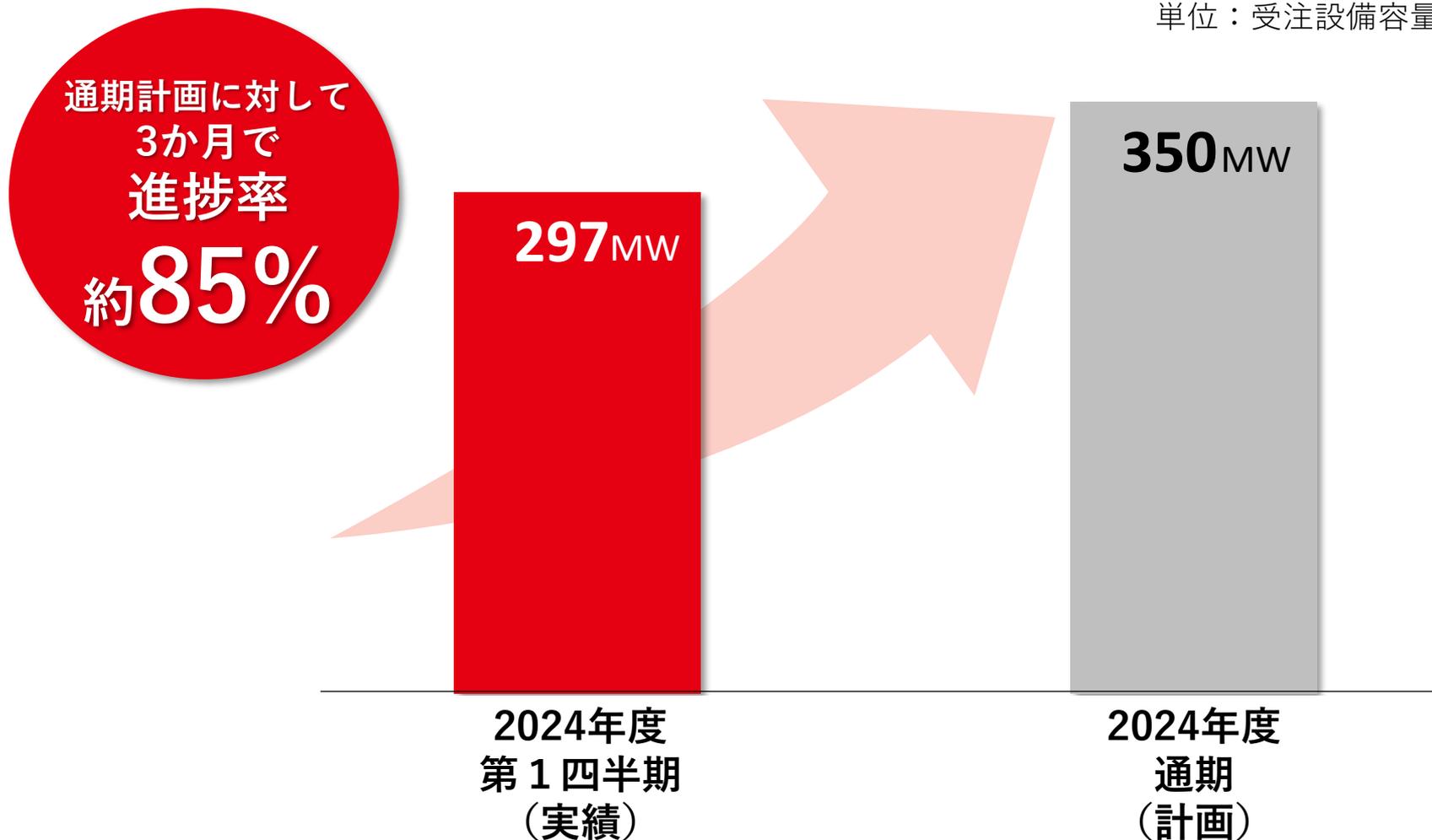


※太陽光の設備容量及びネット設備容量はDC（パネル）容量であり、
小数点第2位以下は切り捨てにしています。
※ネット設備容量は、設備容量にRJ持分割合を乗じたものです。



③O&M受注容量 2 GW 超を達成

単位：受注設備容量（MW）



* 受注容量は契約締結に至ったもののみを計上しております。契約内容によっては売り上げ計上が期ずれする場合がございます。

3

5つのストック収入

5つのストック収入

2023年12月末実績

2024年3月末実績

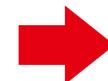
管理受注容量(O&M)



※発電所の運転状況の確認や巡視、稼働実績の報告など

受注設備容量 (自社+他社)

1,921.0MW



2,218.0MW

*1

国内太陽光発電所保有量
(FIT)



稼働済自社保有太陽光発電所 (ネット持分)

298.4MW



292.4MW

*2

海外発電所保有量



稼働済自社保有太陽光発電所 (ネット持分)

49.1MW



52.8MW

国内発電所保有量
(風力・水力)



稼働済自社保有水力発電所

10.6MW



10.6MW

国内太陽光発電所保有量
(Non-FIT/FIP)



稼働済自社保有太陽光発電所 (ネット持分)

8.8MW



22.0MW

*2

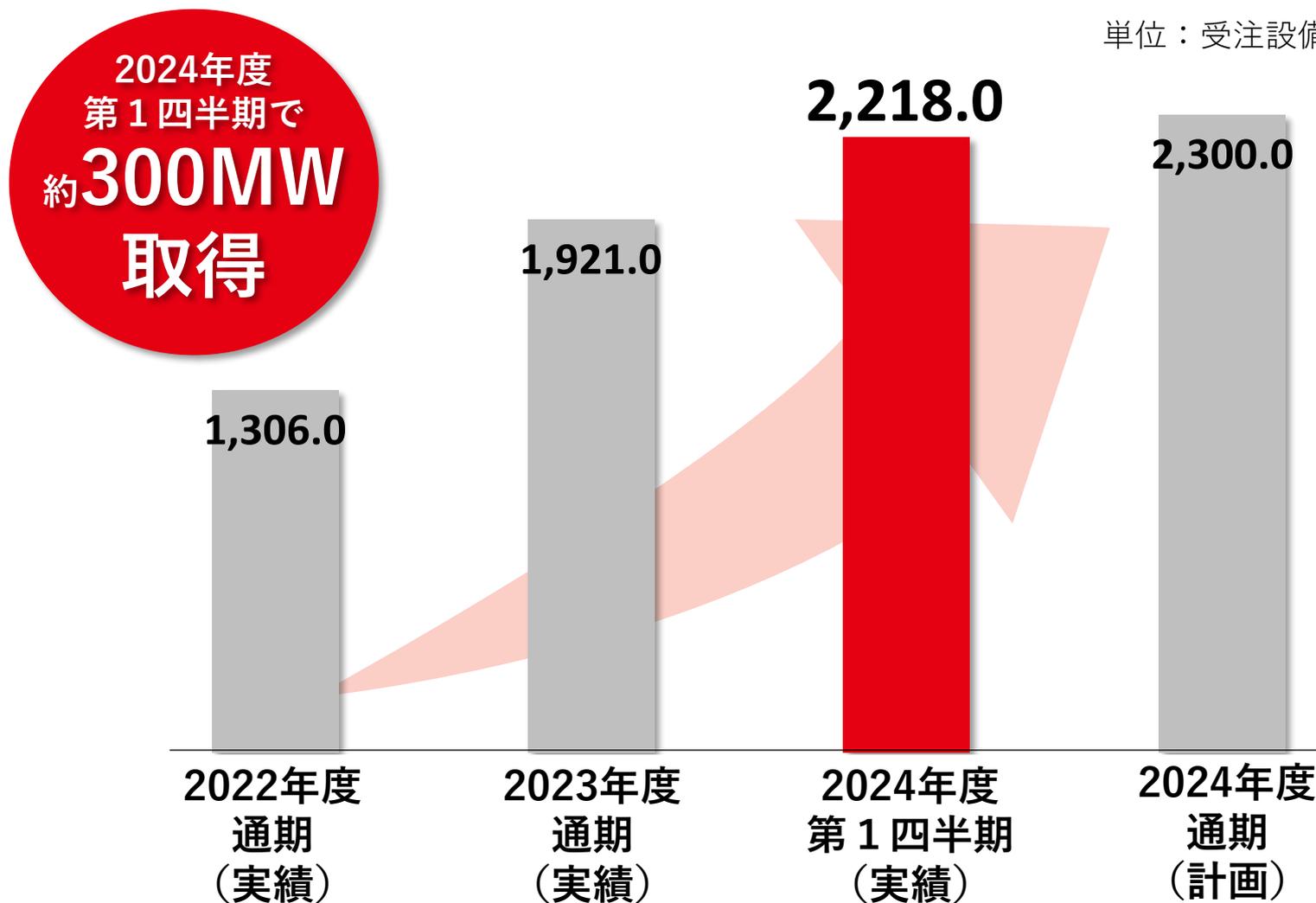
*1 受注容量は契約締結に至ったもののみを計上しております。契約内容によっては売り上げ計上が期ずれする場合がございます。

*2 2024年度より、FIT売電単価1kWh当たりの15円以下の案件及び、FIP、Non-FIT案件は全てNon-FIT案件として計上しております。19



受注容量の推移(O & M)

単位：受注設備容量 (MW)



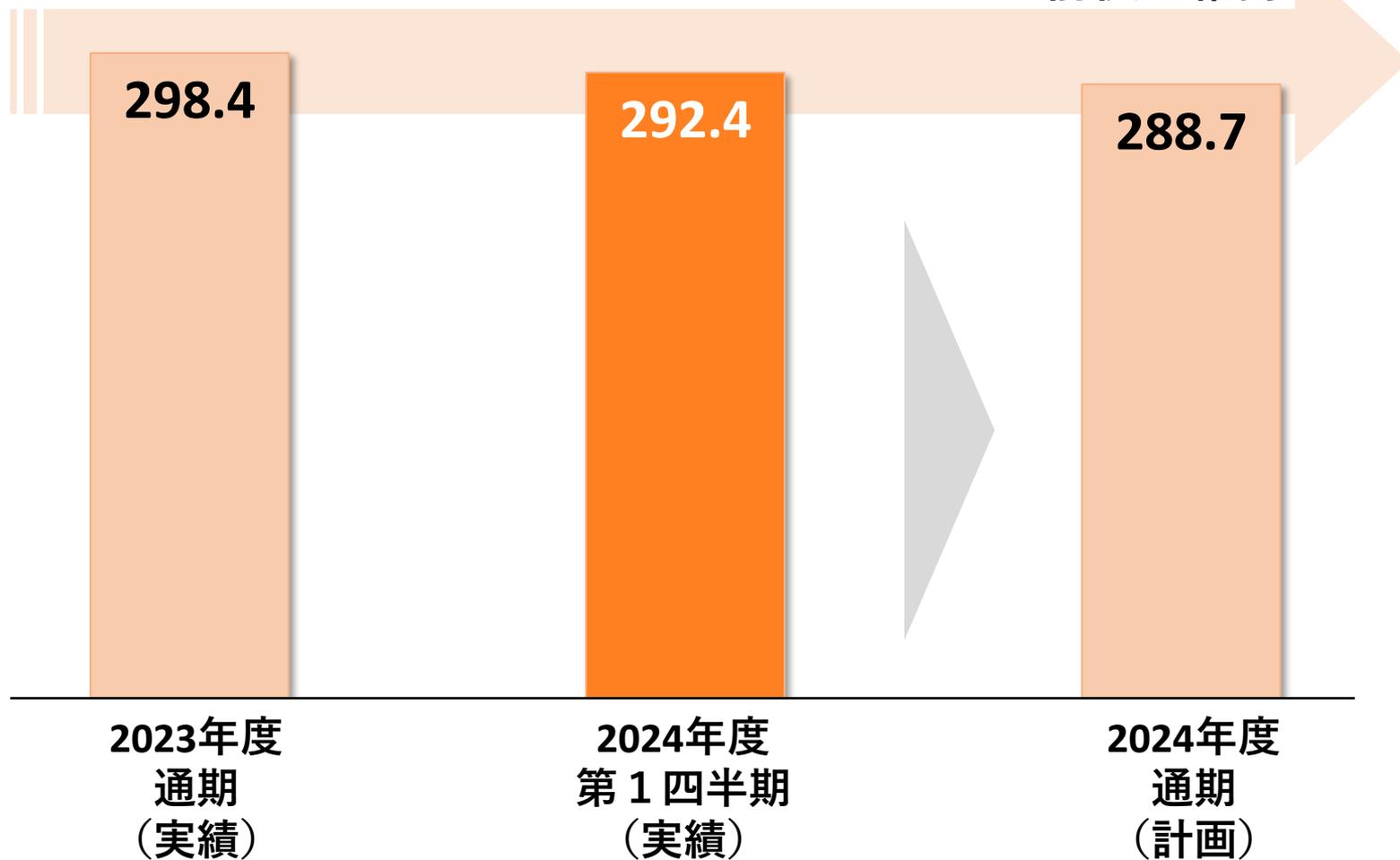
* 受注容量は契約締結に至ったもののみを計上しております。契約内容によっては売り上げ計上が期ずれする場合がございます。



国内太陽光発電所保有量(FIT)

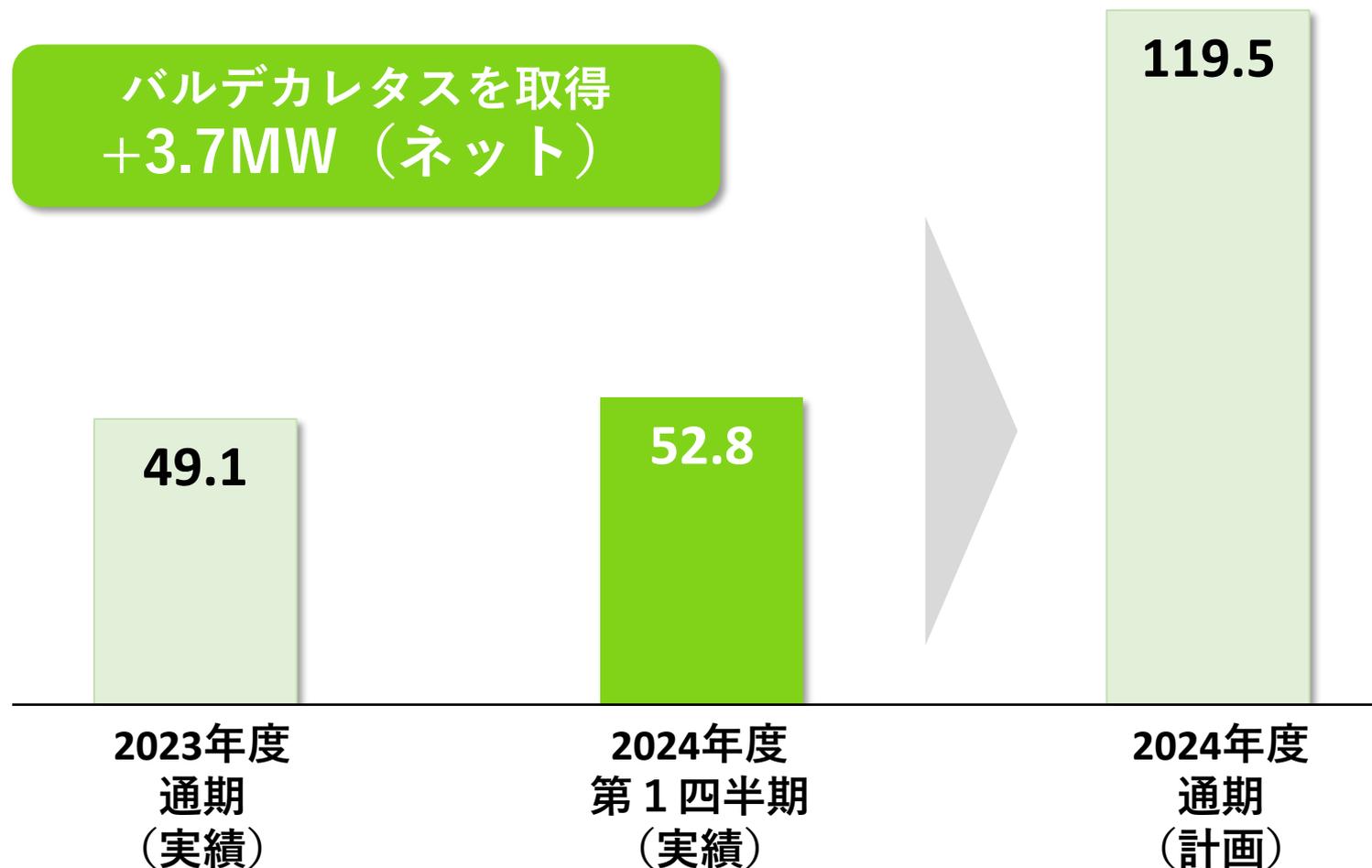
単位：MW

300.0MW前後を維持



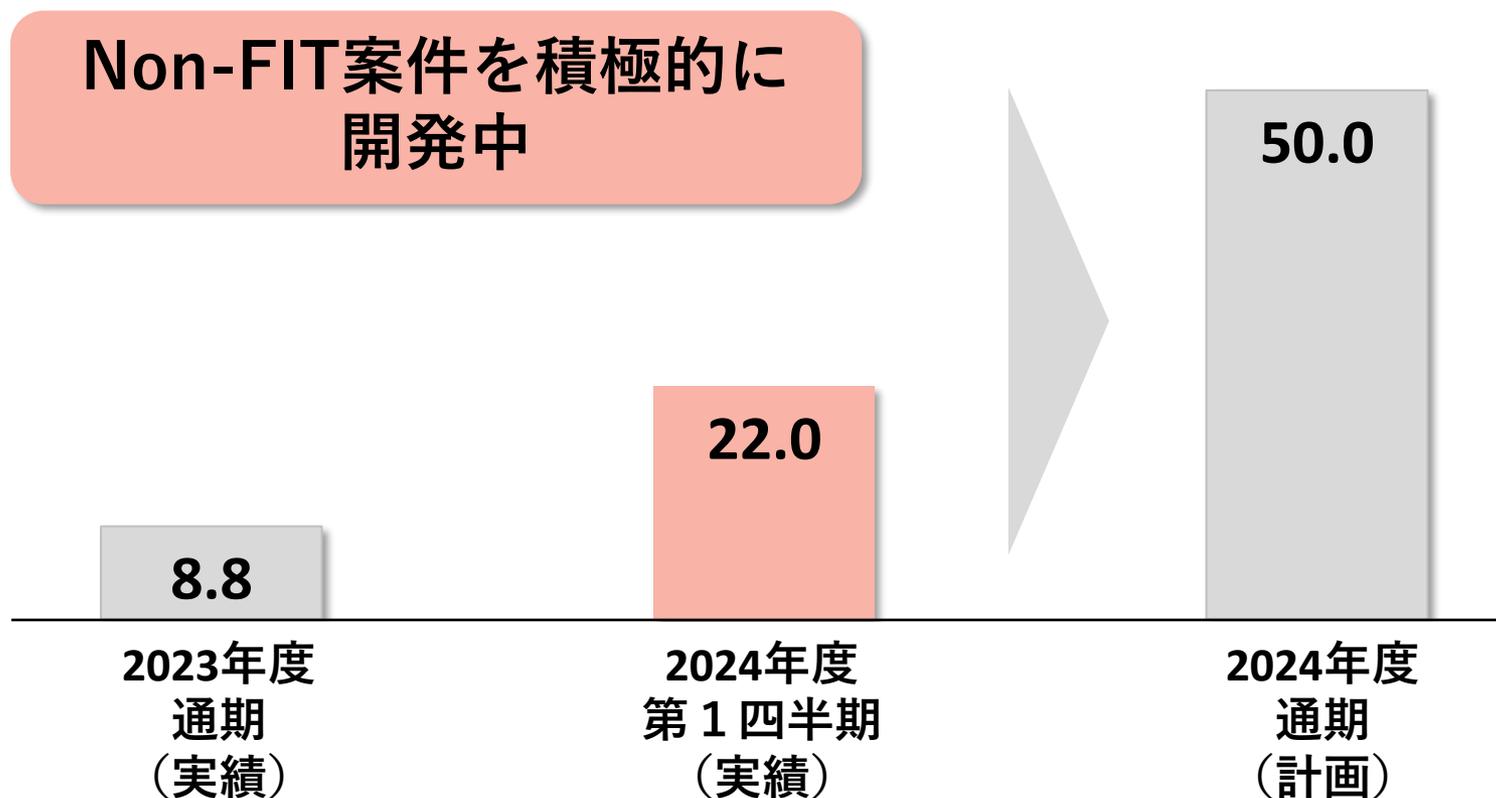
海外発電所保有量

単位：MW



国内稼働済み自社保有発電所 (Non-FIT/FIP)

単位：MW



* FIT売電単価1kWh当たりの15円以下の案件及び、FIP、Non-FIT案件は全てNon-FIT案件として計上しております。

Non-FIT案件の開発について⇒IRTVの参考

IR TV **Industry Insights**

Non-FITに光が！

再エネ

地域で

新たな動きあり!?

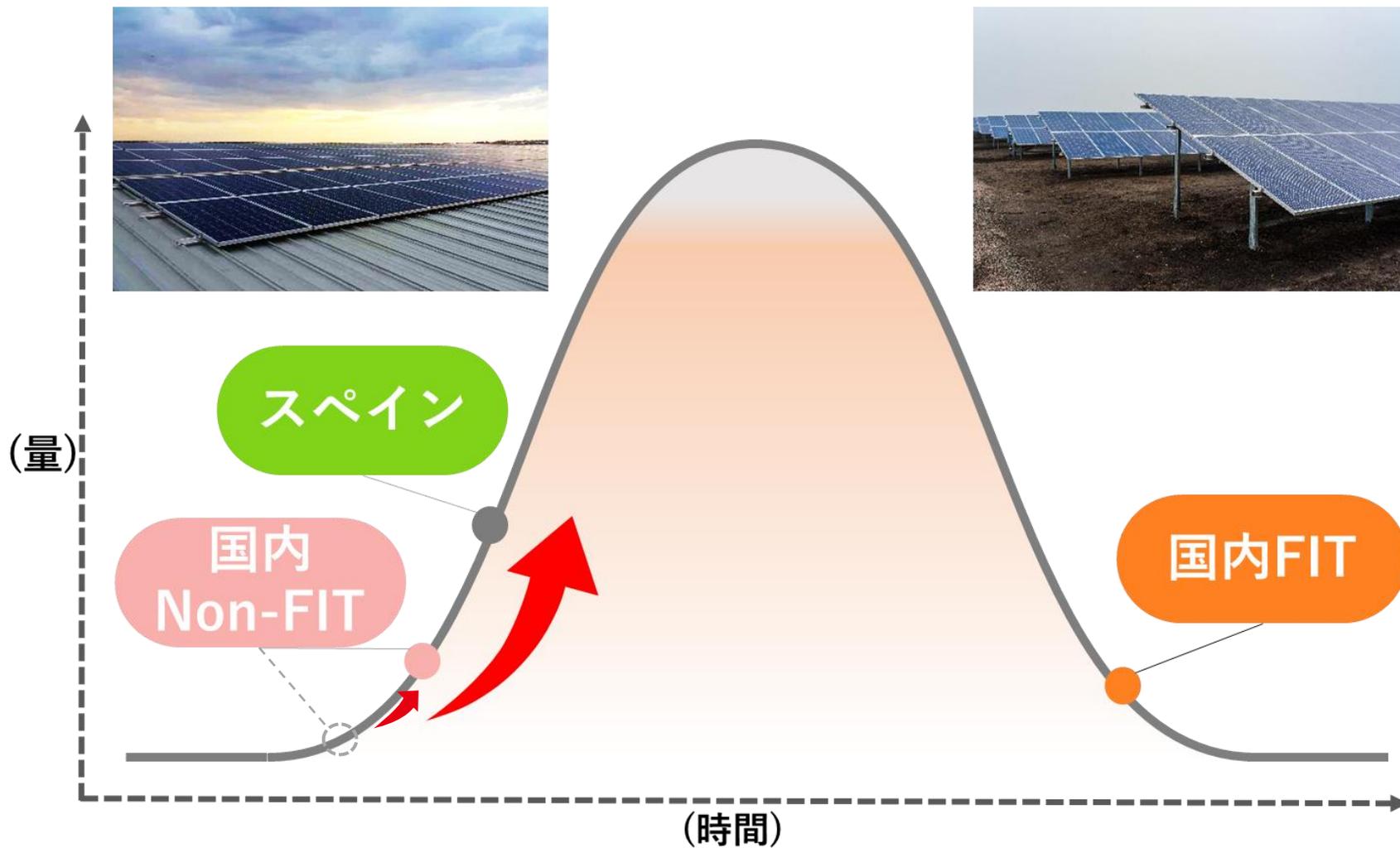
一般社団法人再生可能エネルギー地域活性化協会
FOURE 事務局長
東急不動産 環境エネルギー事業本部 部長
小先 文三

リニューアブル・ジャパン 東証 GRT 代表取締役
真邊 勝仁

【Non-FIT講座実践編！】リニューアブル・ジャパン 真邊社長
FOURE 小先事務局長/Non-FITに光が当たり始めた！？/地域と再エネ事業の共生



太陽光発電市場の成長曲線

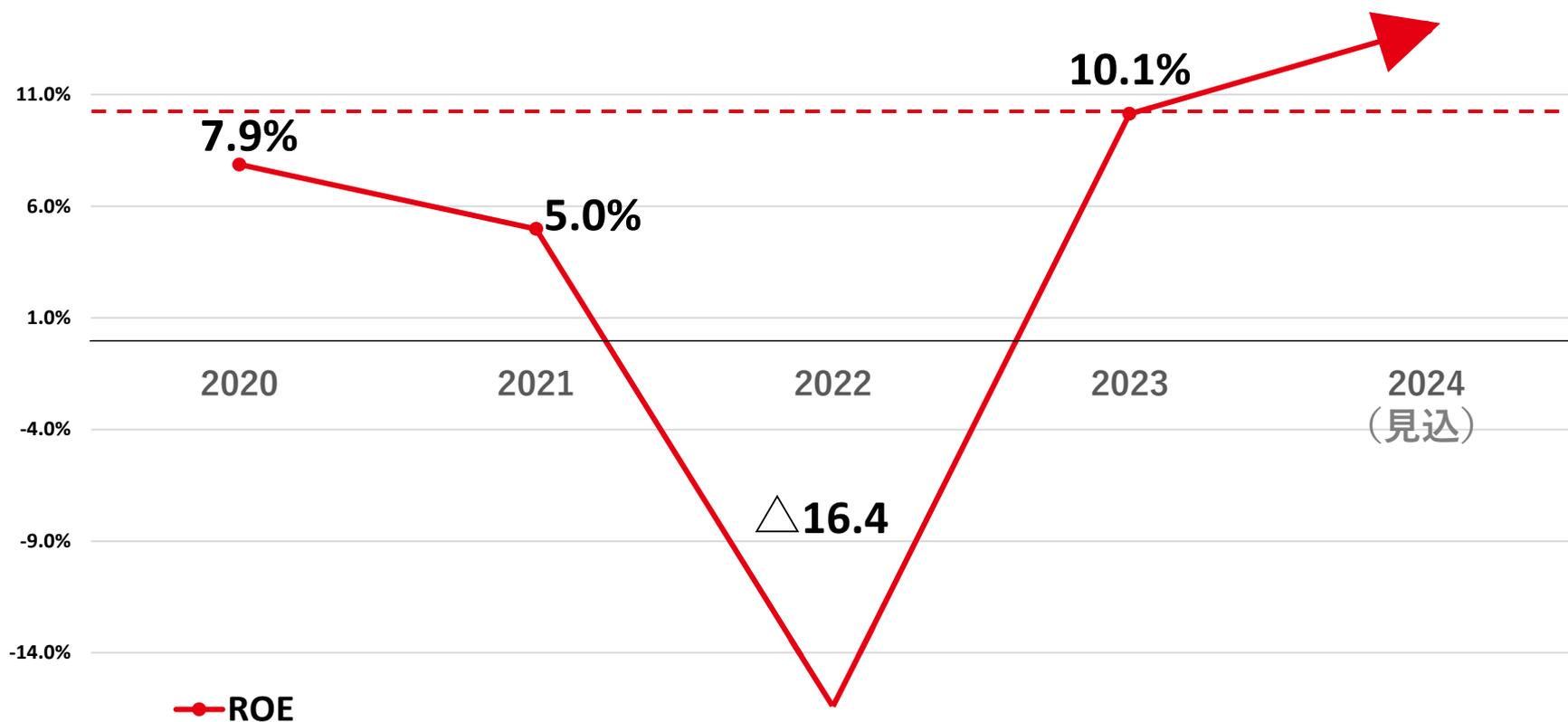




連結PL実績：サマリー

単位：億円 (小数点第2位以下は切り捨て)	2024年度 第1四半期 計画	2024年度 第1四半期 実績	対計画 差異	2024年度 計画
売上高	29.1	38.7	+9.5	205.4
売上総利益	3.4	14.3	+10.8	99.8
販売費及び一般管理費	11.5	10.7	△0.7	48.8
営業利益	△8.1	3.5	+11.6	51.0
経常利益	△13.9	△1.7	+12.2	25.2
EBITDA	10.8	21.5	+10.7	126.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	△8.8	△1.7	+7.0	15.0

2023年度にはROEは近年最高水準*



*ROE：当期純利益÷自己資本（純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分）



すべての人をエネルギーの主人公に。



Renewable Japan



ディスクレイマー

・本資料は、リニューアブル・ジャパン株式会社（以下「当社」といいます。）及び当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

・本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、当社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、当社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

・本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、億円未満は切捨てとしているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせ先
リニューアブル・ジャパン株式会社 企画室
電話 :03-6670-6644
メール:rj_ir_ii@renewable-japan.com
IRサイト: <https://www.rn-j.com/ir/>